

「エゾハルゼミ」

昆虫、動物、植物、鳥類などの和名には「エゾ」を冠するものがたくさんあります。エゾ（蝦夷）はもちろん北海道を意味します。実際に北海道にしか見られない種もあります。エゾモンガ、エゾナキウサギなどがそうです。しかしエゾを冠しても、東北地方や種類によっては日本全国に分布する種もあります。エゾハルゼミ（蝦夷春蟬）もその一つです。

6月になると、北軽井沢の森は大変賑やかになります。エゾハルゼミの大合唱が始まるからです。最初は数匹で、他のセミにはない声の特徴がよくわかります。私には、「ウー—ギィ、ウー—ギィ、ウーギッ・ギッ・ギッギギギギギギギ・ギッ」と聞こえます。午前中から鳴き声が多くなり、それはもううるさいほどの大合唱になります。その「エゾハル」も、梅雨の終わりころにはほとんど姿を消します。落葉松の幹に、一匹とまっていた。羽がひどく傷ついて、ちょっとかわいそうでした。



「エゾハルゼミ」*Terpnosia nigricosta* なかなか優秀な保護色です。